

コロンビア政治情勢（4月分）

1 概要

【内政】

- 2日 コロンビア和平関連基金の運営問題
- 9日 コルドバ候補の立候補辞退
- 9日 元FARC幹部の逮捕
- 11日 エクアドルでの報道関係者誘拐事件
- 18日 ELNとの和平交渉におけるエクアドルの保証国一時脱退
- 大統領選挙世論調査

【外交】

- 4日 ナランホ副大統領とオルギン外相のメキシコ訪問
- 5日 ブロック・オランダ外相の当地訪問
- 6日 不法滞在のベネズエラ人に対する国勢調査
- 8～11日 ソールベルグ・ノルウェー首相の当地訪問
- 13～14日 第8回米州サミット（於：ペルー）
- 19日 オルギン外相の国連安全保障理事会出席（於：ニューヨーク）
- 21日 コロンビアを含む6か国が南米諸国連合への参加取りやめの意向表明
- 24日 サントス大統領の平和構築・強化に関する国連ハイレベル会合出席（於：ニューヨーク）

2 本文

【内政】

1 コロンビア和平関連基金の運営問題

2日、ノルウェー、スウェーデン及びスイスの各駐コロンビア大使は、3月2日付財務・公債大臣宛書簡により、「持続可能なコロンビアのための基金」を通じて各国が出資した約2億ドルの資金の使途に関する説明を要請していたことが分かった。3名の大使の懸念は、「持続可能なコロンビアのための基金」の諮問機関長を務めていたマルセラ・ウエルタ氏の契約が更新されなかったこと、生産プロジェクトの選考にて多くのプロジェクトで実現可能性が低いことが当初から指摘されていたにもかかわらず採択されていることである。同様に、会計検査院、行政監察庁、検察から、基金の資金運営に関する報告書の提出を求めている。サントス大統領は、和平の基金の運営には問題がなかったとしたが、透明性の確保及び資金の適切な運用のための対策を講じる旨述べた。

2 コルドバ候補の立候補辞退

9日、「市民の力」から大統領選挙に立候補していたコルドバ (Piedad Cordoba) 候補が、健康上の理由から立候補を辞退する旨発表した。

3 元FARC幹部の逮捕

9日、元FARC中央参謀本部メンバーで、次期下院議員となるセウシス・バウシーバス・エルナンデス (Seusis Pausivas Hernandez)、通称「ヘスス・サントリッチ (Jesus Santrich)」が麻薬密輸容疑で逮捕された。今次逮捕は、4月4日、米国ニューヨーク南部地区連邦地方裁判所の請求により、国際刑事警察機構 (ICPO) が発出した手配を受けて行われた。また今次逮捕を受け、FARCの要請により、サントス大統領と通称「ティモチェンコ」元FARC最高司令官の会合が行われた。同会合では、通称「ヘスス・サントリッチ」の司法手続は和平合意に基づいて行われることが確認された。

4 エクアドルでの報道関係者誘拐事件

11日、FARC離反兵により構成される武装犯罪組織「オリベル・シニステラ戦線」は、エクアドルの「エル・コメルシオ」紙の報道関係者の殺害声明を発出した。サントス大統領は今次事件を非難するとともに、エクアドルに対する連帯と協力の意を表明した。報道関係者は3月26日にエクアドル北西部のエスメラルダス県で誘拐されていた。また17日、同県のコロンビアとの国境地帯で2人が同武装犯罪組織に誘拐された。

5 ELNとの和平交渉におけるエクアドルの保証国一時脱退

18日、モレノ・エクアドル大統領は、コロンビアのテレビ放送局「NTN24」(RCNグループ傘下のテレビ局)の単独インタビューに応じ、保証国を一時脱退する旨発言した。これにより、コロンビア政府とELN間の和平交渉は目下の交渉場所を失うことになった。

6 大統領選挙世論調査

(1) Cifras&Conceptos社:

(調査日: 4月4~9日実施, 全国(対象2,916名), 誤差±4.5%, 信頼度95%)

(括弧内は前回数値)

ドゥケ候補 (民主中道党)	35.4% (22%)
ペトロ候補 (「ペトロを大統領に」)	24.6% (22%)
バルガス候補 (「#バルガス・ジェラスの方がいいね」)	10.7% (8%)
ファハルド候補 (「コロンビア同盟」)	9.9% (11%)
デ・ラ・カジェ候補 (自由党)	3.1% (4%)
その他	1.4% (3%)

白票	4.5%	(2%)
分からない/無回答	10.4%	(6%)

(2) CNC (Centro Nacional de Consultoria) 社 :

(調査日: 4月14~17日実施, 全国(対象1,216名), 誤差±3.3%, 信頼度95%)

ドウケ候補 (民主中道党)	37%	(36%)
ペトロ候補 (「ペトロを大統領に」)	29%	(22%)
ファハルド候補 (「コロンビア同盟」)	15%	(17%)
バルガス候補 (「#バルガス・ジェラスの方がいいね」)	8%	(6%)
デ・ラ・カジェ候補 (自由党)	3%	(4%)
モラレス候補 (ソモス党)	2%	(4%)
白票	6%	(8%)

(3) Guarumo 社 :

(調査日: 4月14~18日実施, 全国(対象2,688名), 誤差±2.5%, 信頼度95%)

ドウケ候補 (民主中道党)	36.6%	(35.4%)
ペトロ候補 (「ペトロを大統領に」)	26.3%	(22.0%)
ファハルド候補 (「コロンビア同盟」)	12.8%	(10.4%)
バルガス候補 (「#バルガス・ジェラスの方がいいね」)	7.4%	(6.9%)
デ・ラ・カジェ候補 (自由党)	3.4%	(5.7%)
その他	1.3%	(1.9%)
白票	7.3%	(11.9%)
分からない/無回答	4.9%	(5.8%)

【外交】

1 ナランホ副大統領とオルギン外相のメキシコ訪問

4日, ナランホ副大統領とオルギン外相はメキシコを訪問し, ペニャ・ニエト墨大統領と会談を行った。同会談では, 地域事項, 和平や二国間協力に関連した安全保障といった議題が扱われた。

2 ブロック・オランダ外相の当地訪問

5日, ブロック・オランダ外相はコロンビアを訪問し, ポストコンフリクト期における協力などを通じた二国間の経済関係を強化するための会談を行った。6日, ブロック外相はオルギン外相と会談し, 同外相からオランダによるコロンビアの和平プロセスへの支援に対する感謝を受けた。また, 同会談に両国政府関係者が参加し, 再生エネルギー及びラ・グアヒラ県とオランダ間の野菜の水耕栽培協力プロジェクトについて話し合われた。

3 不法滞在のベネズエラ人に対する国勢調査

検察庁は、6月6～8日の期間に不法滞在のベネズエラ人に対する国勢調査を行う旨発表した。同調査の主な目的は、ベネズエラ人の生活実態を明らかにするため行われる。

4 ソールベルグ・ノルウェー首相の当地訪問

8～11日、ソールベルグ・ノルウェー首相がコロンビアを訪問した。9日、サントス大統領と会談を行った。その後、両国政府関係者を交え、ポストコンフリクト期における支援や投資機会について意見交換した。また、ソールベルグ首相はオルギン外相及びヴィベ駐コロンビア・ノルウェー大使の間で交わされたノルウェー短期滞在ビザの期間延長に係る署名に立ち会った。さらに、両国政府は石油部門の持続的開発に係る協力を謳ったMOUに署名した。

5 第8回米州サミット

13～14日、サントス大統領及びオルギン外相はペルーで開催された第8回米州サミットに出席した。サントス大統領は、同サミットにて演説を行い、エクアドル報道関係者誘拐事件、シリア情勢、汚職対策、教育政策及びベネズエラ情勢に関する発言を行った。

6 オルギン外相の国連安全保障理事会出席

19日、オルギン外相及びナランホ副大統領は、コロンビア国連検証ミッションに関する報告書のプレゼンを行うため、安全保障理事会に出席した。同報告書は、アルノー・コロンビア・ミッション担当国連事務総長特別代表（SRSG）が安全保障理事会に提出したものであり、主に元FARC兵の社会再統合プロセスの迅速化に力点が置かれている。

7 コロンビアを含む6か国が南米諸国連合への参加取りやめの意向表明

21日、アルゼンチン、コロンビア、チリ、ブラジル、パラグアイ及びペルーは、南米諸国連合（UNASUR）議長国であるボリビアに対し、UNASURの機能が正常化されるまで参加を取りやめる意向を表明した。同表明の背景には、UNASUR議長の選任に関し、各国が公正な選挙を要請していることが挙げられる。

8 サントス大統領の平和構築・強化に関する国連ハイレベル会合出席

21日、サントス大統領がニューヨークで行われた平和構築・強化に関する国連ハイレベル会合に出席した。同会合でサントス大統領は、麻薬対策の戦略見直しを求め、麻薬犯罪は共同責任である旨主張した。